



長岡小組織目標

児童が活躍する場を設定する

メディア教育講演会を実施しました

茨城県の家庭教育推進委員であり、社会教育委員の、茨城県メディア教育指導員の矢口みどり先生を講師としてお迎えし、全校児童と保護者のみなさま対象に「メディア教育講演会」を実施しました。

矢口先生は、低学年向け、高学年向け、保護者向けと内容を変え、情報セキュリティ対策や情報モラルへの配慮といった、情報化社会で身に付けるべきスキルを普段の生活と絡めてわかりやすくご講演いただきました。

大変暑い日でしたので、音楽室から対面と配信のハイブリット形式で実施しました。教室では、矢口先生の配信を受けて、子供たちがわかりやすいように板書を行う学年もありました。フリー参観日でしたので、たくさんの保護者のみなさまが教室で配信を聞いたり、保護者向けの講演会にご参加いただいたりし、ありがたく思っております。



保護者向けの講演会では、タブレットの使用方法についてトラブルになり、13才の女子中学生が母親を刺殺してしまう事件を題材にして、「何のために使うのか」「親がグッドモデルになっているか」など具体的に親子でどのような取り決めや取組をしたらよいのかお話をいただきました。また、フィルタリングの有用性も話題にありました。フィルタリングのよさは、年齢や判断力にあったサイトの閲覧ができることだそうです。本日子供たちを通してお配りしました、下にありますピンク色のパンフレットにフィルタリングについて掲載されておりますので、ぜひご一読ください。



ポイント1 法令、規約など違反する使い方をさせない!
「ついうっかり」「しらなかった」という言い訳が通じないのは、リアルもネットも同じ

ポイント2 プライバシーを守ることは、生命の安全に直結する!
セキュリティ設定である程度スマホに守ってもらった上で、自分自身も気を付けよう

ポイント3 ネット利用に潜んでいるリスクを正しく知り、一緒に考える!
手軽に便利に使いこなしている世代だからこそ、気を付けておきたいことはいっぱい

ポイント4 ペアコントロールからセルフコントロールへ!
保護者が寄り添い、見守り「自分の力でコントロールできる18才に向けた準備を

Point

